

創造祭

Brand New 文花

第46回 創造祭が5月29日から6月1日まで開催された。今年のテーマは『Brand New 文花』。今までの創造祭と異なる真新しい(= Brand New)創造祭にしたいという思いを込めたもの。テーマにふさわしく、工夫を凝らしたパフォーマンス・展示、新たな試みであるスタンプラリーなどを行い、活気にあふれた4日間となった。



開会式

5月29日昼休み、OLFMの歌声が会場を包み込み、書道研究会の1年生による力強いパフォーマンスが行われ、幕を開けた第46回創造祭。実行委員長の高根澤真鈴さん(総2年)は「創造祭が新しい大学生活を歩むきっかけになってほしい」と熱い思いを語った。



チアリーディング部

5月30日の昼休み、雄飛ホールにて、チアリーディングが行われた。30人ほどのチームが明るい曲に乗せ、演技を披露した。青空の下で、元気いっぱいのパフォーマンスが輝いていた。



アナウンサー対談

(広告研究会)

5月29日、雄飛ホールにて本学卒業生の日本テレビアナウンサー蛭原哲さん(97年律卒)とNST新潟総合テレビアナウンサー井上綾夏さん(17年独卒)が広告研究会主催の対談企画に出演。2人の話術に、観客は終始引き込まれている様子であった。



Dokkyo Music Party

(商業英語部×同時通訳研究会×国際親善倶楽部)

洋楽が流れる雄飛ホールで行われた「Dokkyo Music Party」。会場では飲み物やお菓子がふるまわれ、参加者はトランプなどのゲームを楽しんでいた。ビンゴ大会やOLFMによるパフォーマンスも行われ、大盛況であった。



藍花茶会

(茶華道部)

5月29日から31日、静寂に包まれた茶室にて、藍花茶会が催された。部員の大賀周平さん(仏3年)は、「茶道は人との出会いの場であるから、お客様に喜んでいただけるかということを常に考えてお茶をたてたい」と笑顔で語った。

編集後記

部活やサークルに所属する1年生にとっては初の大舞台になった第46回創造祭。各団体の創造祭への熱い思いとパフォーマンスが光る素敵なイベントとなりました。11月の雄飛祭でも、輝く獨大生の姿を期待しています。

学生記者一同